

英国公文書館所蔵のリース = ロス文書について

その他のタイトル	An Essay on the Leith-Ross Papers
著者	奥 和義
雑誌名	關西大學經濟論集
巻	62
号	3
ページ	259-277
発行年	2012-12-05
URL	http://hdl.handle.net/10112/9729

論 文

英国公文書館所蔵のリース＝ロス文書について

奥 和 義

要 旨

本稿は、英国公文書館に所蔵されているフレデリック・リース＝ロス卿の文書の概略を紹介し、それを通じて彼が活躍した時期の国際金融の諸問題の一端を明らかにしようとするものである。

キーワード：英国公文書館；リース＝ロス；国際金融
経済学文献季報分類番号：06-30；07-31

はじめに

1. リース＝ロスとは
2. リース＝ロス文書の概要

はじめに

本稿は、英国公文書館に所蔵されているフレデリック・リース＝ロス卿文書（分類番号 T188）の概略を示す。

英国公文書館は、日本人研究者がしばしば利用する外国の公文書館の一つであり、その利用方法もよく知られている。現在（2012年9月末時点）は、本人を証明する公的証明書類（パスポートなど）と居住地の住所を証明する公的証明書類（自動車の国際運転免許証など）があれば、資料の取り扱いに関する簡単な e-learning の終了後、最長3年間の利用期限のある利用許可証を即日発行してもらえる。現在は、利用許可証を発行してもらうために公的証明書類が2種類必要であるという点を除けば、PC 端末による利用許可証の読み取り、資料の検索・閲覧の申し込み、座席の指定（デジタルカメラを使用するか否かなどにより座席場所の希望も一定かなえられる）などが1台の端末で即座に行え、資料閲覧の申し込みをしてか

らほぼ30分以内に資料が閲覧用ボックスに入れられている。以前（10年ほど前）は、レポートのみで公文書館の利用が可能であったが、チェックリストから資料の検索を行い、資料番号をコンピュータ端末に入力し、そして小型受信機の点滅による資料の書庫からの搬出完了・閲覧可能状態になったことが示されたあと、資料を閲覧するという一連の複雑な作業工程からすれば、資料の検索、資料の閲覧の点で格段に利便性が向上し、限られた時間でより多くの資料を利用することができるようになってきている。（注1）

英国公文書館に行かずとも、そのHP（<http://www.nationalarchives.gov.uk/>）から資料の検索も容易にできるようになっており、一部の資料はPDF化されてダウンロード可能である。ただし、すべての資料がデジタル化されているわけではなく、また資料の検索も便利になったとはいえ視覚的に一覧性に優れた目録類は欠かせない。日本でもいくつかの目録、調査方法などを記した書籍類が刊行されている。筆者の知るものでは、竹島武郎〔1989〕『イギリス政府・議会文書の調べ方』丸善株式会社、清水元編〔1992〕『英国立公文書館の日本・東南アジア関係史料』アジア経済研究所、加藤祐三監修・楠家重敏編集・解説〔1988〕『日本関係イギリス政府文書目録』横浜市立大学紀要委員会（ただし、加藤祐三監修・楠家重敏編集・解説〔2007〕『日本関係イギリス政府文書目録』（オンデマンド版）雄松堂出版による）などがあげられる。このうち、日本関係の文書目録である加藤祐三監修のそれは、資料のタイトルも記している点で便利である。

筆者は、平成24年度の春学期に学校法人関西大学より在外研究の機会を得ることができたので、その機会に英国立公文書館の資料のいくつかを閲覧し、デジタルカメラによって資料の収録を行った。とくに、大蔵省関係の文書で分類番号T188に分類されているリース＝ロス文書については、ほぼすべてを確認することができた。

T188と番号がつけられているリース＝ロス文書は、大きく2つのパートに分かれている。1つは、フレデリック・リース＝ロス卿が大蔵省に在籍した1909年～1946年のうち1921年～1946年に彼が集め残した262ファイルにおよぶ公文書および準公文書であり、それは、両大戦間期から第二次世界大戦終結期にかけて英国が直面した国際経済の諸問題を取り扱っている。この文書類は、1973年に大蔵省から公文書館に移管されたものである。もう1つの部分は、1975年にリース＝ロスの娘から公文書館に寄贈されたものであり、日記、公的・準公的な書簡類および私信からなっており、64ファイルある。（注2）それぞれのファイルは、分量が1ページから数百ページを越えるものまでまちまちであり、また内容に関しても濃淡がある。以下では、まずリース＝ロスの紹介を行い、ついでリース＝ロス文書の全体的な見取り図を与える。

1. リース＝ロスとは

・公文書館のHPによる紹介

まず最初に、英国公文書館のHP中にある「LEITH-ROSS PAPERS T188」（リース＝ロス関係文書、分類記号 T188）の紹介を借用して、リース＝ロス本人の紹介を行おう。（注3）

フレデリック・ウィリアム・リース＝ロスは、1887年に生まれ、1909年に大蔵省に採用された。1911年から1913年の間、ハーバート・ヘンリー・アスキス首相の私設秘書官の一人であった。1923年に彼は大蔵省の金融担当補佐官になり、1932年には英国政府の主任経済問題顧問になった。そして、その職を1946年までつとめた。1939年から1942年の間、経済戦争省の事務局長であった。彼は、とくに国際経済問題に関係していた。彼は、1920年～1925年に賠償委員会の財政金融部門の英国代表、1931年に政府間債務に関する国際会議の議長、1929年～1930年にハーグ会議の英国代表、1933年にロンドン世界経済会議で同じく英国代表をつとめた。さらに彼は、1932年～1939年に国際連盟経済委員会のメンバーであり、1936年～1937年に同委員会の委員長をつとめた。また、1941年～1943年に連合戦後必要物資委員会の議長、1944年～1945年にそれが改組された連合国国際復興機関（UNRRA: United Nations Relief and Rehabilitation Administration）の事務局次長、1945年～1946年に連合国国際復興機関理事会の欧州委員会議長でもあった。それ以外にも次のようないくつかの海外使節団に加わった。1933年にワシントンへの戦債使節団、1934年にドイツとの金融協定交渉、1935年にイタリアとの金融協定交渉、1935年～1936年に中国への財政金融使節団に加わった。

リース＝ロスは、1946年に政府高級官僚を辞した後、1951年までエジプト国立銀行の総督をつとめ、1951年から1966年の引退まで、National provincial bankの副頭取、そして、Standard Bankの頭取およびNational Discount Companyの社長を歴任した。1925年にバズ勲章コンパニオン（CB：バス勲章の3等級）を、1930年に聖マイケル・聖ジョージ勲章ナイト・コマンダー（KCMG：聖マイケル・聖ジョージ勲章の2等級）を、1933年にバズ勲章ナイト・コマンダー（KCB：バス勲章の2等級）を、1937年に聖マイケル・聖ジョージ勲章ナイト・グランド・クロス（GCMG：聖マイケル・聖ジョージ勲章の1等級）を授与されている。自叙伝、「Money Talks」を1968年に出版後、1968年8月22日に死去した。（注4）このような簡単な紹介によっても、リース＝ロスが、両大戦間期の国際経済・国際金融の諸問題に深く関係していたことが推察される。次に、日本でのリース＝ロスの取りあげ方を検討しておこう。

・ リース＝ロスに関する日本での研究

日本の研究でリース＝ロスに言及される場合は、その多くが1935年の中国の幣制改革研究についてである。中国の幣制改革とは、簡略には以下のようなことである。1930年代半ばまで中国では積極的に通貨管理を行うことなく、通貨の発行権は一つの銀行に集中していなかった。そのような場合、野放図な通貨発行の可能性が生じるが、一般市民の銀への兌換要求が強く、それが通貨供給量の過度の拡大を防止していた。また国際的には銀本位制度をとっていたので1931年まで銀価格下落によって中国経済は緩慢なインフレーション状態にあった。しかし銀価格の動向の反転は、このような状況を逆転させ、1934年にはついに大規模な資本逃避がみられるようになり、その結果、中国政府は幣制改革の実現をせまられるようになった。通貨改革を実現するためには十分な資金が必要であるから、それは諸外国から調達せざるをえない。当時の中国に強い影響力を及ぼそうとするアメリカ合衆国、英国、日本は、それぞれの戦略的意図の下、この幣制改革に関与する。最終的には、中国政府は英国が派遣したリース＝ロスと交渉を進め、アメリカ合衆国への銀売却をすすめることになった。（注5）

この幣制改革の評価について、英国のリース＝ロスの役割を重視する研究、限定的であったとする研究、「リース＝ロスとの交渉は、中国政府にとって、貴重な学習プロセスとなっていた」とする最新の研究などがある。（注6）

これらの研究では、英国の公文書として、リース＝ロス使節団に関する外務省の文書、そして大蔵省の関係する文書が使用されている。リース＝ロス文書については、T188/118 (China: correspondence and interviews at Shanghai and Peking、全458ページ、1935年8月26日～12月30日までの上海と北京での滞在中の対談と書簡類)、T188/122 (1936年、Financial Mission to China: financial and economic problems, especially silver and Sino-Japanese relations、全235ページ、ただし実際のファイルの表書きでは、Sir Frederick Leith-Ross Report on China Mission になっている)、T188/151 (1936-1938年、China: consortium for administrative and industrial loans、全223ページ)などが利用されている。

2. リース＝ロス文書の概要

リース＝ロス文書は、大きく2つのパートに分かれている。主要なパートは、リース＝ロスが大蔵省に在籍した期間中とくに1921年～1946年に彼が集積した公的あるいは準公的な文書類である。それはT188/1～T188/262と分類番号づけされた262のファイル類から構成されている。それは両大戦間期から第二次世界大戦終結期にかけて英国が直面した国際経

済の諸問題に関係しており、連合国際復興機関も含まれている。

1つのファイルに含まれる文章量は、ファイルごとに大きく異なり、多いもので数百ページから、少ないもので数ページになっている。またファイルの中身も、会議録、往復書簡類、報告書、電報、リース=ロスのメモ、新聞記事など多種多様にわたっている。ファイルの内容、年次は後にリストとしてまとめている。

もう1つのパートは、T188/263～T188/326と分類番号がつけられたものである。それは、リース=ロスの娘(S. M. Hagger 夫人)から公文書館に1975年に寄贈されたものであり、公的・準公的な書簡類、私信、そして日記類から構成されている。その中には、アスキス首相の個人秘書時代の文書、第1次世界大戦期の文書が含まれており、また1922年～1945年にかけての国際経済の諸側面に関する文書が、一部はテーマ別に、一部は国別に配列されている。さらにそこには、1911年～1968年の家族との手紙、私信、その他さまざまな書簡類が、かなりの分量含まれている。リース=ロスは世界規模で友人・知人の輪を作っていて、彼の書簡類に登場する友人・知人には、ディーン・アチソン、バトラー卿、ヒュー・ドルトン、ルイス・ウィリアムズ・ダグラス、フランクス卿、エドモンド・ハル=パッチ卿、ハンキー卿、ラルフ・ホートレー卿、ロイ・ハロッド卿、ケインズ卿、パー・ジャクソン、フィオレロ・ラ・グアルディア、ロナルド・リンゼイ卿、オリバー・リットルトン(チャンドス卿)、フィリップ・ノエル・ベーカー、ノーマン卿、オックスフォード・アスキス伯爵夫人マルゴット、ジョン・G・ウィナットなどがあげられる。日記は、1913年～1915年と1923年～1968年の時期をカバーしているが、記録されているのはリース=ロスが従事していた仕事内容だけである。(注7)初期の一部に詳細な記述がある場合もある。このパートは、後述のリストにあげていない。

・リース=ロス文書の内容(T188/1～T188/262)

リース=ロス文書のうち、主要な公文書類であるT188/1～T188/262までを、ファイル番号、年次、ファイル紹介文の順に以下に記しておく。それによって、リース=ロス文書の主要な文書の内容を把握できる。いささか分量が多いが、文書利用を容易にするために以下に示しておこう。

以下のファイル名は公文書館のHP上のカタログで検索したものと同一であるが、オリジナルの表紙に書かれているファイル名と相違している場合がある。例えば、T188/122を紹介した際にすでに示したように。しかし、内容がまったく異なっているわけではないので、あえてそれを修正することはしていない。

T188

- /1 1921-1927 Reparation (Recovery) Act 1921: revision of procedure
- /2 1923-1930 Occupation and evacuation of the Rhineland conferences
- /3 1924 UK war loans to Russia, 1914: Treasury papers and historical memoranda
- /4 1924 UK bank balances of the Russian prerevolution government
- /5 1924-1930 Reichsbank General Council: minutes
- /6 1925 Conference of finance ministers Paris: correspondence and memoranda
- /7 1925 Inter Allied debts: memoranda
- /8 1925 "Transfers": Sir Josiah Stamp's address to the International Chamber of Commerce
- /9 1925 US Treasury memorandum on repudiation of state indebtedness
- /10 1926 Italy/UK war debt settlement
- /11 1927 5% War Loan and convertible bonds: J. Hanson Lawson's scheme for conversion
- /12 1927-1928 International Relief Bonds Committee: minutes
- /13 1927-1928 Dollar advances by US and funding of UK debt
- /14 1927-1928 Public debt funding
- /15A 1930 Anglo-Soviet Claims Committee: use of Soviet shipping by UK in 1914-1918 war and subsequently
- /15B 1930 League of Nations Financial Committee: Reports on Gold
- /16 1930-1931 Young Plan for settlement of reparations: memoranda and discussions
- /17 1930-1931 Anglo-Soviet Claims Committee: disposal of claims by or against UK
- /18 1930-1931 Ditto: Soviet claim to gold deposits in Bank of England
- /19 1931 European Union Committee: Austro-German customs union negotiations
- /20 1931 Introduction of exchange control
- /21 1931 European economic situation: discussions with French Treasury
- /22 1931 Sterling depreciation: discussions with French Treasury
- /23 1931 Young Plan for settlement of reparations: Layton Committee, Basle
- /24 1931 Young Plan for settlement of reparations: Layton Committee, Basle: moratorium
- /25 1931 Reparations: discussions with German ministers

- /26 1931 Hoover Plan: memoranda and press comment
- /27 1931 Hoover Plan: application to German annuities
- /28 1931 International co-operation over the gold standard: "Ruling of the Game" by D. H. Henderson
- /29 1931 "Pegging the Pound": memorandum by R. G. Hawtry and comments by D. H. Henderson
- /30 1931 UK Gold Drain, July-September: memoranda and discussions between Governor of Bank of England and Foreign representatives
- /31 1931-1932 Young Plan for settlement of reparations: Memoranda on growth of Germany's competitive power
- /32 1931-1932 Reparations, war debts, etc: conversations with French representatives
- /33 1931-1933 Germany: memoranda on "Stand-still" and conversations with (British) Bankers Committee
- /34 1931-1935 Chinese and Indian currency problems: International implications
- /35 1932 Austria: financial assistance proposed by Financial Mixed Committee
- /36 1932 Danubian States: conference on economic reconstruction
- /37 1932 Danubian States: trade statistics and French scheme for economic reconstruction
- /38 1932 Danubian States: four power conference on economic reconstruction
- /39 1932 Young Plan for settlement of reparations: E. Rowe-Dutton on German economic position
- /40 1932 Germany: financial situation of railways
- /41 1932 Lausanne Conference: war debt negotiations with French Government
- /42 1932 Lausanne Conference: reparations and war debts
- /43 1932 World Monetary and Economic Conference: constitution of preparatory committees
- /44 1932 World Monetary and Economic Conference: representation
- /45 1932 League of Nations Financial Committee: reports on proceedings
- /46 1932 League of Nations Financial Committee: proposed guaranteed loans in central Europe
- /47 1932 Reparations, war debts, etc: memorandum on UK policy
- /48 1932 Sterling: notes by Prime Minister's advisory committee on financial

- questions
- /49 1932 War debts: discussions with US
- /50 1932 World Monetary and Economic Conference: Preparatory Committee memoranda on import restrictions
- /51 1932 World Monetary and Economic Conference: Preparatory Committee memoranda on meat imports policy and statistics
- /52 1932 World Monetary and Economic Conference: movement towards international agreement in the coal industry
- /53 1932 World Monetary and Economic Conference: Preparatory Committee report on stabilisation of German currency
- /54 1932 World Monetary and Economic Conference: Preparatory Committee report on international public works and technical equipment
- /55 1932 World Monetary and Economic Conference: memoranda on various financial questions including silver, gold, foreign exchange, etc.
- /56 1932 World Monetary and Economic Conference: memoranda on various financial problems including gold, prices, capital movements, etc.
- /57 1932-1933 Argentina: exchange restrictions and trade balance
- /58 1932-1933 War debts: discussions with US
- /59 1932-1935 Brazil: exchange restrictions
- /60 1932-1936 Austrian financial crisis: Control Committee and League of Nations Financial Committee negotiations; UK discussions with French Government on conditions of loan
- /61 1933 Young plan for settlement of reparations: new German government's financial programme
- /62 1933 Young plan for settlement of reparations: German trade figures
- /63 1933 World Monetary and Economic Conference: French Finance Minister's discussions with Chancellor on agenda
- /64 1933 World Monetary and Economic Conference: French Finance Minister's discussions with Chancellor on agenda
- /65 1933 World Monetary and Economic Conference: Board of Trade memoranda for UK members of Preparatory Committee
- /66 1933 World Monetary and Economic Conference: Board of Trade

- memoranda for UK members of Preparatory Committee
- /67 1933 World Monetary and Economic Conference: Board of Trade memoranda for UK members of Preparatory Committee Financial Subcommittee
- /68 1933 World Monetary and Economic Conference: various papers relating to Preparatory Committee
- /69 1933 World Monetary and Economic Conference: International Chamber of Commerce report on trade policy
- /70 1933 World Monetary and Economic Conference: League of Nations papers
- /71 1933 World Monetary and Economic Conference: Various papers relating to the conference and UK policy
- /72 1933 International trade depression: UK recovery policy
- /73 1933 Establishment of wheat reserve in UK: memorandum by J. F. Darling
- /74 1933 War debts: discussions with US
- /75 1933-1934 War debts: discussions with US
- /76 1933-1934 War debts: miscellaneous papers
- /77 1933-1934 Anglo-German Exchange Agreement: London conference
- /78 1933-1934 Monetary policy: memoranda for discussions with US
- /79 1934 Liquidation of frozen German debts: correspondence with Dr. Schacht, President of the Reichsbank
- /80 1934 Liquidation of frozen German debts: correspondence with Dr. Schacht, President of the Reichsbank: negotiations
- /81 1934 German economic situation: Anglo-German conversations in Berlin
- /82 1934 Introduction of new exchange controls by Germany: effect on trade with UK
- /83 1934 Introduction of new exchange controls by Germany: report on Anglo-German negotiations
- /84 1934 Introduction of new exchange controls by Germany: effect on trade with British colonies
- /85 1934 Introduction of new exchange controls by Germany: "Standstill" negotiations with German Government
- /86 1934 Anglo-German Exchange Agreement: draft agreement

- /87 1934 Anglo-German Exchange Agreement: Debts Clearing Offices and Import Restrictions Reprisals Bill
- /88 1934 Anglo-German Exchange Agreement: Foreign Trade and Finance (Powers) Bill
- /89 1934 Anglo-German Exchange Agreement: formation of committee of bankers and traders
- /90 1934 Anglo-German Exchange Agreement: appointment of UK representatives to advisory committee on clearing system procedure
- /91 1934 Anglo-German Exchange Agreement: advisory committee on clearing system procedure
- /92 1934 Anglo-German Exchange Agreement: clearing arrangements
- /93 1934 Anglo-German Exchange Agreement: arrangements made?
- /94 1934 Anglo-German Exchange Agreement: complaints by various UK traders
- /95 1934 Anglo-German Exchange Agreement: maintenance of trade
- /96 1934 Anglo-German Exchange Agreement: purchase of sondermarks
- /97 1934 Anglo-German Exchange Agreement: Reichsbank offer to long and medium-term creditors of Germany
- /98 1934 Commercial treaties and agreements: German trade and finance statistics
- /99 1934 Commercial treaties and agreements: Report on Trade Negotiations
- /100 1934 US Congress resolution that exports financed by US Government must be carried in US ships: comments of interested parties
- /101 1934 Produce Markets Supply Committee: co-ordination of trade policy
- /102 1934-1935 Germany: clearing agreements with various countries
- /103 1934-1935 German economic situation: reports from UK representatives in Germany; extracts from speeches and press reports
- /104 1934-1935 Anglo-Roumanian trade debt negotiations
- /105 1934-1935 Anglo-German Exchange Agreement: minutes of Consultative Committee
- /106 1935 Anglo-German Exchange Agreement: minutes of Consultative Committee; conclusions on issue of foreign exchange certificates

- /107 1935 China: Cabinet Committee on the financial situation; report on the silver agreement
- /108 1935 China: attitudes of British and foreign banks to nationalisation of silver
- /109 1935 Visit of M. Flandin, French Premier: general papers on Anglo-French financial and economic questions
- /110 1935 Mission to Tokyo: memoranda, press reports, interviews, etc on the general Far Eastern situation and finance in particular
- /111 1935 Mission to Tokyo: arrangements for audience with the Emperor
- /112 1935 Produce markets Supply Committee: Pigs and Bacon Production subcommittee minutes
- /113 1935 Produce markets Supply Committee: Board of Trade memorandum on bacon Production
- /114 1935 Produce markets Supply Committee: Board of Trade memorandum on restriction of egg imports
- /115 1935 Produce markets Supply Committee: discussions with Australian ministers regarding preferential tariffs on imported meat, and their effect on Argentine supplies
- /116 1935 Exchange Stabilisation
- /117 1935 The Lloyd George "New Deal": proposals on trade development, national resources, unemployment, etc
- /118 1935 China: correspondence and interviews at Shanghai and Peking
- /119 1935-1936 Argentina: revision of 1933 trade agreement and issue of new agreement, 1 December 1936
- /120 1935-1938 League of Nations Economic Committee: periodical reports
- /121 1936 Financial Mission to China: interviews with General Chiang Kai Shek and officials regarding silver and currency reform
- /122 1936 Financial Mission to China: financial and economic problems, especially silver and Sino-Japanese relations
- /123 1936 Financial Mission to China: interviews with General Chiang Kai Shek and related correspondence
- /124 1936 Financial Mission to China: visit to Tokyo in connection with Sino-Japanese monetary problem; cuttings from Chinese and Japanese

newspapers

- /125 1936 Financial Mission to China: Chinese press treatment of financial situation and currency reforms
- /126 1936 Financial Mission to China: Silver Dollar Law
- /127 1936 Financial Mission to China: notes by C. Rogers (Central Bank of China)
- /128 1936 Financial Mission to China: questionnaire on Chinese currency
- /129 1936 Financial Mission to China: reorganisation of Central Bank of China
- /130 1936 Financial Mission to China: reorganisation Committee report
- /131 1936 Financial Mission to China: financial statistics
- /132 1936 Anglo-Chinese trade: meetings at the Treasury with Chinese representatives on UK markets for wolfram, tin etc.
- /133 1936 Anglo-Chinese trade: visits of Nanking National Resources Commission to purchase electrical equipment
- /134 1936 Anglo-Chinese trade: report on present position and future outlook by L. Beale Commercial Counsellor, Shanghai
- /135 1936 Anglo-Chinese trade: meetings on Locomotive Manufacturers Association and Department on Overseas Trade to develop Chinese railway market
- /136 1936 Anglo-Chinese trade: finance of orders from China on basis of Boxer Indemnity Fund payments
- /137 1936 Short-term capital movements in Europe and the USA
- /138 1936 Tientsin-Pukow railway: settlement of 1908 and 1910 loans outstanding to Chinese bondholders
- /139 1936 Hukuang railway: settlement of outstanding loan with bondholders committee
- /140 1936 Priority of payment of scrip over German bonds: memoranda to Chinese Minister of Railways
- /141 1936 Settlement of Vickers and Marconi loans: arrangements with Chinese Government
- /142 1936 Negotiations of various loans to Chinese railways
- /143 1936 Chinese Customs Service: administration; revision of tariffs
- /144 1936 French devaluation: memoranda on German reaction

- /145 1936 French devaluation: memorandum by Federation of British Industries
- /146 1936 French devaluation: three-power currency declaration
- /147 1934 Dunlop: import of rubber and other materials for use by German company
- /148 1936 European economic situation: visit of M. Stoppani, Secretary, League of Nations Economic Committee
- /149 1936-1937 China: proposed tariff union with Hong Kong
- /150 1936-1938 China: staffing and administration of Customs (Maritime) Service
- /151 1936-1938 China: consortium for administrative and industrial loans
- /152 1936-1939 China: railway loans
- /153 1936-1939 Anglo-Chinese trade: export credits for sales of British Goods
- /154 1936-1939 Hungary: League of Nations report on exchange controls
- /155 1936 Oct.- 1938 Oct. Italy: political and economic situation and inter-national implications of foreign policy
- /156 1938 June- 1939 July Italy: political and economic situation and inter-national implications of foreign policy
- /157 1938 Nov.- 1939 Sept. Italy: political and economic situation and inter-national implications of foreign policy
- /158 1936-1939 Economic Committee negotiations for institutions of international coal control
- /159 1937 China: loan to the China Merchants Steam Navigation Company by the Hong Kong and Shanghai Banking Corporation
- /160 1937 China: negotiations for China Merchants Steam Navigation Company's purchase of new ships
- /161 1937 China: bank credit for British capital in development of Kwangsi and Hainan minerals
- /162 1937 China and the Far East: F. T. A. AshtonGwatkin (Foreign Office) on British policy
- /163 1937 Chinese external payments: HMG's preference for quantitative import restrictions over exchange control
- /164 1937 China: collection of income tax
- /165 1937 Danube Basin: economic rehabilitation
- /166 1937 Exchange control: correspondence with R. H. Brand on his published

article

- /167 1937 French devaluation: international currency situation
- /168 1937 Five power negotiations on non-aggression: conversations with German and French ministers
- /169 1937 Five power negotiations on non-aggression: conversations with German and French ministers
- /170 1937 German economic situation: memorandum to Lord Privy Seal from a German source
- /171 1937 International Chamber of Commerce: ninth Congress, Berlin
- /172 1937 League of Nations Economic Committee: correspondence with "The Times" on "Seeking Stability" article
- /173 1937 League of Nations Economic Committee: composition
- /174 1937 Present and future role of Sterling: memoranda and press comments on "Gold Ramp"
- /175 1937 Trade Policy Committee: composition and terms of reference
- /176 1937 Trade Policy Committee: recommendations on trade barriers, quotas and tariffs
- /177 1937 Raw Materials Committee: Reports
- /178 1937 World cotton situation
- /179 1937 Oslo trade agreement
- /180 1937 International sugar conference: preliminary arrangements
- /181 1937 International sugar conference: inter-departmental committee meetings
- /182 1937 International sugar conference: inter-departmental committee meetings
- /183 1937 International sugar conference: preliminary arrangements; ratification of Sugar Agreement by India
- /184 1937 International sugar conference: proposed new international sugar agreement
- /185 1937 International sugar conference: UK proposals; representations by Sugar Refiners' Association, etc
- /186 1937 International sugar conference: British Empire delegations meetings
- /187 1937 China: visit of Dr. Kung, Minister of Finance, for loan negotiations
- /188 1937 China: currency loan and its effect on Japan

- /189 1937 China: memorandum by Dr. Kung on attitude of Japan
- /190 1937 China: local British insurance companies war risk cover of goods on various craft used in China
- /191 1937 China: A. H. Geroge's article in "Journal on Careers"
- /192 1937-1938 Austria: monthly economic reports
- /193 1938 Austria: monthly economic reports
- /194 1937-1939 Greece: comparative tables of foreign trade
- /195 1938 Germany: political and military attitudes to Austria
- /196 1938 Austria: conversion of the 1930 loan and reduction of the high interest rate
- /197 1938 Germany: responsibility for Austrian indebtedness
- /198 1938 May Austria: Guarantor States Committee of Control meetings on reconstruction
- /199 1938 May Austria: Guarantor States Committee of Control meetings on reconstruction
- /200 1938 June Austria: Guarantor States Committee of Control meetings on reconstruction
- /201 1938 July Austria: Guarantor States Committee of Control meetings on reconstruction
- /202 1938 Austria: effect of incorporation into Germany on Guaranteed Loans
- /203 1938 Czechoslovakia: financial aid from UK and France
- /204 1938 Czechoslovakia: financial aid from UK and France
- /205 1938 China: loans through Bank of England or Exchange Equalisation Fund
- /206 1938 China: use of salt revenue as security for loan issues
- /207 1938 China: raising of a loan on UK on security wolfram and antimony production
- /208 1938 China: loans and the possible disruption of UK/Japanese relations
- /209 1938 Central and South-Eastern Europe: interdepartmental committee on extension of British influence by economic means
- /210 1938 Central and South-Eastern Europe: interdepartmental committee on extension of British influence by economic means
- /211 1938 French devaluation: international currency situation
- /212 1938 German economic and political situation: discussions between Unilever representative and Drs Fisher and Benning
- /213 1938 Germany and Central Europe: briefs for (Parliamentary) debate on economic Questions

- /214 1938 Anglo-German Exchange Agreement: Revision following absorption of Austria by Germany
- /215 1938 Anglo-German Exchange Agreement: negotiations in London
- /216 1938 Brazilian cotton: proposed increased imports into UK
- /217 1938 Loans to Roumania proposed on the security of deliveries of oil and other commodities
- /218 1938 Obstacles to growth of international trade: report by M. Van Zeeland
- /219 1938 Obstacles to growth of international trade: arrangements for publication
- /220 1938 Obstacles to growth of international trade: discussions with French and Italian representatives
- /221 1938 Obstacles to growth of international trade: US attitude
- /222 1938 German undertakings for production of oil from coal
- /223 1938 Imperial Shipping Committee: report on British shipping at Singapore
- /224 1938 China: financial assistance for currency stabilisation
- /225 1938 Transfer of Jews and Property from Germany: departmental committee meetings and conversations with Drs Jeidels and Goerdeler
- /226 1938-1939 Transfer of Jews and Property from Germany: departmental committee meetings and conversations with Drs Jeidels and Goerdeler
- /227 1938-1939 Anglo-German cooperation: visit of Dr. Schacht (President of the Reichsbank); the Schacht plan
- /228 1938-1939 Greece: repayment of debts; tobacco exports to UK
- /229 1938-1939 Imperial Economic Committee: sub-committee on Information Services for Secondary Industries
- /230 1938-1939 Imperial Economic Committee: marketing schemes intelligence service and tobacco reclassification
- /231 1938-1939 Roumania: trade interviews with Prime Minister Tartaresco
- /232 1938-1939 Pound/Dollar exchange position: UK and US Treasury correspondence
- /233 1938-1939 Direct purchases of wheat
- /234 1939 China: proposed UK-US-France loan for currency stabilisation
- /235 1939 China (Currency Stabilisation) Bill: agreements between British and Chinese banks
- /236 1939 Burma-Yunnan road and railway: political implications of loans

- /237 1939 Burma-Yunnan road: loan for the purchase of lorries
- /238 1939 Proposed International Economic Conference
- /239 1939 Greek external debt
- /240 1939 Greece: exchange of old coinage for manufacture and supply of new nickel coins by an Anglo-French group
- /241 1939 Greece: representations by the Council of Foreign Bondholders for a temporary settlement of debts
- /242 1939 Greek share of Ottoman debt: proposed payment in exports to UK and France
- /243 1939 Greek share of Ottoman debt: notes on interviews in Athens
- /244 1939 Roumania: protocol on commercial and economic arrangements with UK
- /245 1939 Roumania: export credit guarantees for purchase of equipment and materials in UK
- /246 1940 League of Nations: International Cooperation in Economic and Social Affairs; Bruce report
- /247 1940-1942 Post-war relief in Europe: Committee on export surpluses
- /248 1941 Post-war relief in Europe: inter-Allied meetings
- /249 1941 European economic reconstruction: memoranda on relations with USA
- /250 1941 Prof. J. M. Keynes: draft memorandum on "War Aims" and the German "New Order"
- /251 1941-1942 "Distribution of National Income": correspondence with P. H. A. Appleby of US Department of Agriculture
- /252 1941-1942 Post-war relief in Europe: Canadian participation
- /253 1941-1942 Post-war relief in Europe: Soviet Government memoranda and UK Government's comments
- /254 1942 Post-war relief in Europe: memorandum on US views by J. G. Winant Ambassador
- /255 1942 UNRRA: discussions with US State Department
- /256 1942-1943 UNRRA: four-power discussions
- /257 1943 UNRRA: functions and scopes of various committees
- /258 1944 UNRRA: European Committee of Council meetings Feb 24-Sept 14

- /259 1944-1945 UNRRA: European Committee of Council meetings Nov 18-May 31
 /260 1945 UNRRA: European Committee of Council meetings June 2-Sept 4
 /261 1945-1946 UNRRA: European Committee of Council meetings Oct 1-Jan 17
 /262 1946 UNRRA: European Committee of Council meetings March 8-May 1

この目録を一瞥して理解されるように、両大戦間に英国が関わったすべての国際経済、国際金融の諸問題が網羅されている。ドイツの賠償問題、中東欧諸国の経済開発の問題、ギリシアの国家破産の問題、世界恐慌後の世界経済回復を図るために模索された世界経済会議の議論内容、UNRRA など、両大戦間期および第2次世界大戦終結後の世界経済の安定と成長に関わる重要な国際経済問題が網羅されているのである。もちろん個別に当該問題を詳細に分析するためには、大蔵省資料のみならず、他の部局の資料、そして交渉相手国の公文書類による検証を必要とするのは言うまでもないことである。これを次の課題としたい。

(※) 本稿は、平成24年度関西大学在外研究員制度（調査）による研究成果の一部である。

【注】

- (注1) 英国公文書館の利用方法は、そのHPの公文書館に来る前に詳細に説明されている。説明は、<http://www.nationalarchives.gov.uk/visit/whattobring.htm>にある。
- (注2) <http://www.nationalarchives.gov.uk/catalogue/DisplayCatalogueDetails.asp?CATID=12772&CATLN=3&FullDetails=True>（2012年10月31日閲覧）、および英国公文書館所蔵の紙ベースの目録による。
- (注3) 英国公文書館所蔵の紙ベースの目録による。また英国の勲章については、英国政府の公式サイト、http://www.direct.gov.uk/prod_consum_dg/groups/dg_digitalassets/@dg/documents/digitalasset/dg_068132.pdf（2012年10月15日閲覧）、および、英国王室公式サイト、<http://www.royal.gov.uk/MonarchUK/Honours/OrderofStMichaelandStGeorge.aspx>（2012年10月15日閲覧）により確認。
- (注4) Money Talks は、リース＝ロスが唯一残した自叙伝であり、それは日本では、藤村欣市朗[1979～1988]により、翻訳されている。ただし、藤村欣市朗[1979～1988]では、翻訳だけでなく、連載されている号によっては、当該時期の国際金融問題があわせて解説される形式になっている。
- (注5) 城山智子[2011]、193～194ページによる。
- (注6) 古典的な英国の研究として、S. Endicott,[1975]があり、日本では野沢豊編[1981]、久保亨[1999]などが国際関係、中国政府・経済の動向をふまえたまとまった代表的な研究であり、政治史からの最近の研究として樋口秀実[2007]がある。引用は、城山智子[2011]、198ページによる。リース＝ロスの幣制改革に関して、気鋭の中国経済史研究者・関西大学非常勤講師の木越義則氏にいろいろ御教示をえた。ここに記して謝意を表する。もちろん、誤解、残存する誤りなどすべての責任は筆者にある。
- (注7) 英国公文書館所蔵の紙ベースの目録によるリース＝ロス文書の紹介による。紙ベースのものは、公文書館内で資料を閲覧する際に資料番号を入力する端末で示される紹介と同じである。

【参考引用文献一覧】

- ・ Sir Frederick Leith-Ross, [1968] *Money Talks-Fifty Years of International Finance-*, Huchinson & Co. Ltd., London.
- ・ S. L. Endicott, [1975], *Diplomacy and Enterprise-British China Policy, 1933-37*, Manchester University Press.
- ・ 藤村欣市朗[1979～1988]「貨幣は語る－国際金融の50年－フレデリック・リース・ロス卿自叙伝」(1)～(107) 『国際金融』外国為替貿易研究会、625号～809号、1979年5月15日号～1988年8月1日号。
- ・ 藤村欣市朗[1992]『高橋是清と国際金融』(上)(下) 福武書店。
- ・ 野沢豊編[1981]『中国の幣制改革と国際関係』東京大学出版会。
- ・ 久保亨[1999]『戦間期中国〈自立への模索〉－関税通貨政策と経済発展』東京大学出版会。
- ・ 樋口秀実[2007]「1935年中国幣制改革の政治的意義」服部龍二他編『戦間期の東アジア国際政治』中央大学出版部。
- ・ 城山智子[2011]『大恐慌下の中国』名古屋大学出版会。
- ・ 竹島武郎[1989]『イギリス政府・議会文書の調べ方』丸善株式会社。
- ・ 清水元編[1992]『英国立公文書館の日本・東南アジア関係史料』アジア経済研究所。
- ・ 加藤祐三監修・楠家重敏編集・解説[1988]『日本関係イギリス政府文書目録』横浜市立大学紀要委員会（ただし、加藤祐三監修・楠家重敏編集・解説[2007]『日本関係イギリス政府文書目録』（オンデマンド版）雄松堂出版による）。
- ・ 英国公文書館のHP <http://www.nationalarchives.gov.uk/>

